Creative Enzymes®

真核生物由来UMPキナーゼ（組換え体）

Cat. No. CEGZ-6405

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	UMP、dUMP、および選□されたプリン／ピリミジン一リン酸に□して活性を有する、組換え中温性真核生物由来UMPキナーゼ。
用途	研究用途および中温条件下におけるUMP、dUMPならびに関連するヌクレオチド一リン酸のin vitroリン酸化用。
別名	UMPK；ウリジル酸キナーゼ；ウリジン一リン酸キナーゼ；ATP：UMPホスホトランスフェラーゼ

製品情報

種	真核生物
由来	組換え大腸菌（E. coli）
形態	液体
***EC*番号**	EC 2.7.4.22
***CAS*登□番号**	9036-23-1
分子量	24.2 kDa
特異性	UMPおよびdUMPに□して活性を示し、GMP、dGMPおよびTMPに□する活性は低い。ATPおよびdATPは供与体として機能し得る。
基質	ATPまたはdATP；UMP；dUMP；GMP；dGMP；TMP
反□	ATP + UMP = ADP + UDP
備考	中温性酵素。大腸菌（E. coli）において組換えタンパク質として発現させ、His6タグを用いたアフィニティークロマトグラフィーにより精製。最適反□時間および酵素濃度は、基質により□動する場合があります。
プロトコル	70 mM Tris-HCl（pH 7.6、37°Cにて） 10 mM $MgCl_2$ 5 mM UMP 6 mM ATP 酵素 0.04 g/L 37°Cで一□（オーバーナイト）
使い方	研究用およびin vitro（体外）使用のみに限定されます。

保管・発送情報

保存方法	-20℃